



取扱説明書



STUDIO CONDENSER MICROPHONE C-3

Dual-Diaphragm Studio Condenser Microphone

JP

JP 安全にお使いいただくために

**注意**

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。製品内部には手を触れず、故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。

**注意**

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

**注意**

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。



コンデンサーマイクは湿気に対して非常に敏感です。

このタイプのマイクは絶対に湿気の高い場所（浴槽、洗面台、流し台、洗濯機、プールなど）の側で使用しないでください。ヴォーカルレコーディングの際にはマイクの内部機構を水分から保護するために、必ず付属のポップシールドを使用してください。



本装置は取扱説明書に記載されている供給電源でのみ使用可能です。



マイクの落下にはくれぐれもご注意ください。重大な損傷の原因となる場合があります。お客様の過失による損傷は保証の対象とはなりません。



使用後には必ずマイクをマイクソケットから取り外し、柔らかい布で拭いた後に付属

のケースに格納してください。この際、乾燥剤の入った袋をマイクの頭部に並べてケースに入れるのを忘れないでください。

限定保証

適用される保証条件と MUSIC Group の限定保証に関する概要については、オンライン上 www.music-group.com/warranty にて詳細をご確認ください。

法的放棄

技術的な仕様および製品の外観は予告なく変更される場合があります。またその内容の正確性について、いかなる保証をするものではありません。BEHRINGER, KLARK TEKNIK, MIDAS, BUGERA, および TURBOSOUND は、MUSIC GROUP (MUSIC-GROUP.COM) のブランドです。すべての商標はそれぞれの所有者の財産です。MUSIC GROUP は、ここに含まれたすべて、もしくは一部の記述、画像および声明を基にお客様が起こした行動によって生じたいかなる損害・不利益等に関しても一切の責任を負いません。色およびスペックが製品と微妙に異なる場合があります。MUSIC GROUP 製品の販売は、当社の正規代理店のみが行っています。ディストリビューターとディーラーは MUSIC GROUP の代理人ではなく、あらゆる表現、暗示された約束、説明等によって MUSIC GROUP を拘束する権利はまったくありません。この説明書は、著作権保護されています。本取扱説明書に記載された情報は、MUSIC GROUP IP LTD. からの書面による事前の許諾がない限り、いかなる利用者もこれを複製、使用、変更、送信、頒布、入れ替え、工作することは禁じられています。

製権所有

© 2013 MUSIC Group IP Ltd.

Trident Chambers, Wickhams Cay, P.O. Box 146, Road Town, Tortola, British Virgin Islands

1. ファンタム電源の供給

コンデンサーマイクの使用にはファンタム電源 (+48 V) が必要となります。マイクをファンタム電源に接続すると、コントロール LED が点灯します。異常のあるファンタム電源の使用に伴う C-1 の損傷については当社では一切の責任を持ちません。ファンタム電源の投入時には再生機器をミュートに切り替えてください。

2. 指向特性

C-3 は、デュアルラージダイアフラムマイクロフォンです。そのため、カーディオイド、フィギュア 8 そして無指向性の 3 種類の指向性パターンが選択できるようになっています。マイクの裏側にあるスイッチを使って、パターンを切り替えることができます。

2.1 カーディオイド

この指向性パターン (スイッチ位置中間 \odot) を持つマイクは、マイク前方から入る音声を主に拾い、マイク両側からの音声はそれほど收音されない仕組みになっています。マイク後部から入る音声はほとんど收音されません。そのため、カーディオイドパターンのマイクは、楽器もしくはボーカルの個別レコーディングに適しています。

2.2 双指向性 (フィギュア 8)

フィギュア 8 パターン (スイッチ位置左 \otimes) のマイクは、マイクの前方もしくは後部から直接入る音声の録音に最適です。マイクの両側、もしくは上部及び下部から入る音声は收音されにくくなります。そのため、この指向性は向かい合った二人のナレーター等の音声を收音するレポーターマイクとして適しています。また、必要に応じてリバースもしくはエコー効果を生成する事も可能です。そのためには、マイクを音源と壁の中間に設置する必要があります。音声はマイク前方から最初のメンブレン (膜) に到達します。壁から反射された音声はその後、マイク後方から 2 つめのメンブレンにいくらかの遅れ (ディレイ) を伴って到達します。こうしてリバースもしくはエコー効果が生成できるわけです。マイクと壁の距離を調節すれば、ディレイタイムを変更することも可能となります。

2.3 無指向性

C-3 をこの無指向性パターン (スイッチ位置右 \circ) で使用した場合、マイクは各方向から入る音声に対して同様のレベルで反応します。この指向性パターンは、自然なサウンドが求められるレコーディングセッション、もしくはマイクの周りに設置された音声を收音するのに最適です。

3. ローカットフィルターとアッテネーション信号レベル

ローカットフィルターは、C-3 の前方に設置された左スイッチによって起動させることができます (スイッチ位置左 /)。超低周波ノイズなどの不快な音がこれによってカットされます。また、マイクに近接した距離でのボイスレコーディングを行っている場合にローカットフィルターがオンになっていると、ほぼ直線的な周波数レスポンスが得られます。

C-3 の右前方に設置されたスイッチは -10 dB 信号レベルアッテネーションを起動させます (スイッチ位置右、-10 dB)。この機能は、例えばベースドラムのような音圧の高い音源をレコーディングする際に特に使用されます。

4. マイクのインストール方法

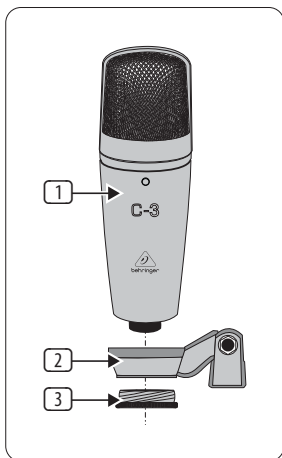


図 4.1: マイクスタンドの固定

マイクにはホルダーがネジ止めされており、ネジ径 $\frac{3}{8}$ インチ AKG 規格もしくは $\frac{5}{8}$ インチ SHURE 規格のマイクスタンドに固定することができます。アダプターは付属されています。まずマイク下部にある大きなネジ ③ を廻してマイク ① を取り外してください。マイクホルダー ② をマイクスタンドに固定したら、マイクを再びホルダーに戻し、ネジを廻して固定します。

一般的に、マイクは音源に対して垂直に設置します。音源に対するマイクの角度によって、録音音声が変わってきますので、好みの音声が得られるような角度を試してみてください。ねじを緩めればマイクはホルダーごと回転させることができます。

垂直に設置されたマイクを傾けたい場合は、付属されているマイクホルダーのジョイント部を調節してください。

◆ ネジ穴を損傷する場合がありますので、ネジは強く締めすぎないようにお気をつけ下さい。

C-3 をホルダーから取り外し、市販のサスペンションに固定することももちろん可能です。

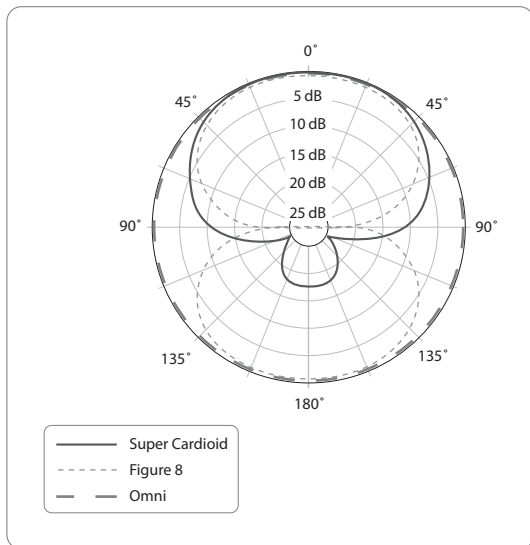
5. オーディオ接続

C-3 の接続にはバランス型の XLR マイクケーブルを使用してください (ピン構成は以下の通り): Pin 1 = Shield, Pin 2 = +, Pin 3 = -。C-3 のすべての接点は金メッキ加工されているため、ケーブル側にも金メッキコネクターの使用をお勧めします。

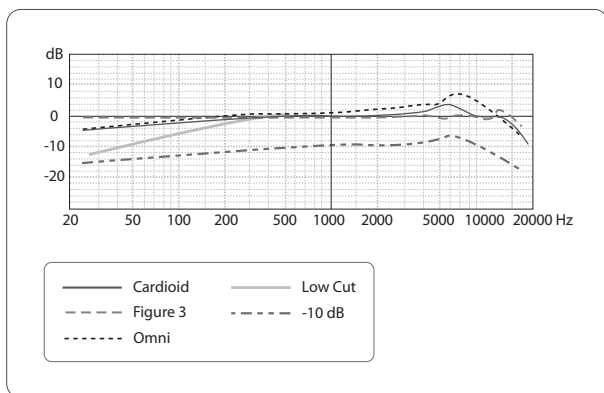
6. 音量調整 / 基本音声の設定

ミキサーのマイクチャンネルに設けられたゲインコントローラーを、ピーク LED が全く点灯しないか、ごく稀に点灯する程度に調整します。マイクチャンネルの EQ コントローラーは最初の状態では中央位置に設定しておきます; ローカットフィルターおよびアッテネーション信号レベルは、オフに切り替えてください。スタジオのレコーディングルームでは、好みの音声が発生するようにマイクの位置を移動させてみるのもいいでしょう。また、音源に対して様々な角度に防音壁を設置することも理想の音声の発生に役立つことでしょう。イコライザーやシグナルプロセッサは基本となる音声が希望の状態に調整されてから必要に応じて接続します。

C-3 は非常に直線的な周波数レスポンスと高い解像度を実現するため、音声に過大な影響を与えノイズレベルを不要に増幅する高周波帯域の EQ 調整が不要になります。ミックスやレコーディングの際に失われがちな音声の透明度は、これによって保たれることになります。



極特性線図



周波数レスポンス

7. 技術仕様

コンバーター形式	コンデンサー、 16-mm ダイアフラム
指向特性	カーディオイド、フィギュア 8、 無指向性
コネクター	バランス型 XLR コネクター (金メッキ加工)
オープンサーキット感度	-40 dBV/pa (10 mV/pa)
周波数レスポンス	40 Hz - 18 kHz
最大入力音圧>	142 dB (< 0.5% THD @ 1 kHz)
等価音圧レベル	23 dBA (IEC 651)
力度の範囲	119 dB
定格インピーダンス	75 Ω

電源電圧 / ヒューズ

動作電圧	+48 V
消費電流	7.0 mA

寸法および重量

寸法	Ø 胴部 54 mm 長さ 180 mm
重量	約 0.42 kg

BEHRINGER 社は最高の品質水準を保つ努力を常に行っています。必要と思われる改良等は予告なしで行われますので、技術データおよび製品の真が実物と多少相違する可能性があります。



We Hear You